

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	簿記概論Ⅰ・Ⅱ
教科書	「原価計算」岩崎勇(東京法令出版)
補助教材等	プリント
学習上の留意点	
<p>1・2年生の頃に学習した商業簿記について復習しておくこと。授業の時は、必ず電卓を持参すること。関数電卓ではなく、簿記用の電卓を準備すること。授業中は、寝ない。しゃべらない。メリハリが必要です。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>専門科目に入ると、初めて聞く内容が増えてきて理解するのも大変になります。この講座では、教科書に出てくる難解な内容をできるだけかみくだいて説明したり、身の回りの具体的なものに例えて説明することを心がけて授業を行う予定です。進む進度もすこしゆっくりめに設定しています。</p>	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	0 ガイダンス 1 工業簿記、原価計算	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・工業簿記手続きの一巡を理解できる。 ・原価の意味、原価計算の目的について理解できる。 	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
2			
3			
4	2 費目別原価計算 ・材料費の計算 ・労務費の計算 ・経費の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の分類と購入・出庫の仕訳が理解できる。 ・材料元帳の記帳が理解できる。 ・予定価格法が理解できる。 ・賃金の分類と支払、消費の仕訳が理解できる。 ・予定賃率を用いた賃金の処理が理解できる。 ・経費の分類と消費の仕訳が理解できる。 	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
5			
6			
7			
8	中 間 試 験		
9	答案返却・解答解説 3 個別原価計算	<ul style="list-style-type: none"> ・原価計算表と製造勘定の関係を理解できる。 ・製造間接費の配賦計算を理解できる。 ・製造間接費の予定配賦を理解できる。 ・仕損品の処理を理解できる。 	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
10			
11			
12	4 部門別原価計算	<ul style="list-style-type: none"> ・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 ・部門の意義、分類ができる。 ・部門共通費の配賦計算を理解できる。 ・補助部門費の配賦計算を理解できる。 ・製造部門費の予定配賦計算について理解できる。 	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
13			
14			
	期 末 試 験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・全体の学習事項のまとめが理解できる。 	
総 授 業 時 間 数			30 時間